

平成24年度事業報告

公益社団法人
愛知県医師会

事業（庶務・会計・事務）に関する年度報告書

平成24年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度、「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

○ 庶務に関する事項

1. 会員の異動

入会	530名	(県内異動も含む)
退会	351名	(〃)
死亡	90名	
現在会員数	8,838名	(別表)

(平成25.3.31現在)

2. 文書の収受、発送

受取	23,851件
発送	335,641件

3. 会員の栄誉

(1) 平成24年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝双光章	服部 義明 殿
瑞宝双光章	村田 さかゑ 殿
瑞宝小綬章	楫江 勇 殿
旭日双光章	石黒 順造 殿

平成24年秋の褒章・叙勲者に対し、記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝中綬章	久野 邦義 殿
旭日小綬章	妹尾 淑郎 殿
瑞宝小綬章	瀬川 昂生 殿

(2) 平成24年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰いたしました。

瑞穂区	加藤 雅通 殿
中川区	杉浦 正良 殿
一宮市	大山 泉 殿
一宮市	宮地 育郎 殿

東 海 市 伊 藤 光 保 殿
東 名 古 屋 牧 靖 典 殿
西 名 古 屋 前 田 修 殿
岡 崎 市 吉 田 貴 殿
豊 田 加 茂 安 藤 伯 秋 殿
名 大 松 尾 清 一 殿

(3) 平成24年難病の学術的研究に功績のあった会員に記念品を贈り表彰いたしました。

名古屋大学大学院医学系研究科

眼科学教授 寺 崎 浩 子 殿

名古屋市立大学大学院医学研究科

脳神経外科学教授 間 瀬 光 人 殿

愛知医科大学加齢医科学研究所

神経内科学講師 岩 崎 靖 殿

藤田保健衛生大学医学部

腎内科学准教授 長谷川 みどり 殿

4. 物故会員

本年度（平成24年4月～平成25年3月受付分）の物故会員は90名ありました（別表）。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会 議

(1) 総 会 1回

◆ 愛知県医師会第67回（定例）総会を平成24年10月6日（土）愛知県医師会館において開催し、次の議事、協議を行いました。

議 事

第1号議案 公益法人愛知県医師会定款に関する件

報 告

- 1) 庶務及び会計の概況に関する事項
- 2) 事業の概要に関する事項
- 3) 代議員会において議決した主要な決議に関する事項

(2) 代議員会 3回

- ◆ 愛知県医師会第166回（定例）代議員会を平成24年6月23日（土）愛知県医師会館において開催し、次の議事、協議を行いました。

議 事

第1号議案	平成24年度事業計画に関する件
第2号議案	平成24年度会費の賦課徴収に関する件
第3号議案	平成24年度会費減免申請に関する件
第4号議案	平成24年度会入会金の賦課徴収に関する件
第5号議案	平成24年度一般会計収支予算に関する件
第6号議案	平成24年度生命保険特別会計収支予算に関する件
第7号議案	平成24年度会館運営特別会計収支予算に関する件
第8号議案	平成24年度会館整備特別会計収支予算に関する件
第9号議案	平成24年度救急医療情報システム特別会計収支予算に関する件
第10号議案	平成24年度医療秘書学院特別会計収支予算に関する件
第11号議案	平成24年度広域災害救急医療情報システム参加医療機関 医師災害補償基金特別会計収支予算に関する件
第12号議案	平成24年度労働保険事務組合労働保険料特別会計収支予算に関する件
第13号議案	平成24年度労働保険事務組合一般会計収支予算に関する件
第14号議案	平成24年度愛知県医師会立名古屋助産師学院特別会計収支予算に関する件
第15号議案	会長専決処分に関し承認を求めるの件
第16号議案	顧問委嘱に関する件

協 議

- ◆ 愛知県医師会第167回（臨時）代議員会を平成24年10月6日（土）愛知県医師会館において開催し、次の議事、協議を行いました。

議 事

第1号議案	平成23年度一般会計収支決算に関し承認を求めるの件
第2号議案	平成23年度生命保険特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
第3号議案	平成23年度会館運営特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
第4号議案	平成23年度会館整備特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
第5号議案	平成23年度救急医療情報システム特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
第6号議案	平成23年度医療秘書学院特別会計収支決算に関し承認を求めるの件

第7号議案	平成23年度広域災害救急医療情報システム参加医療機関医師災害補償基金特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
第8号議案	平成23年度労働保険事務組合労働保険料特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
第9号議案	平成23年度労働保険事務組合一般会計収支決算に関し承認を求めるの件
第10号議案	平成23年度愛知県医師会立名古屋助産師学院特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
第11号議案	新法人移行・公益法人愛知県医師会定款に関する件
第12号議案	公益法人愛知県医師会定款施行細則・諸規則に関する件

協議

◆ 愛知県医師会第168回（臨時）代議員会を平成25年3月2日（土）愛知県医師会館において開催し、次の議事、協議を行いました。

議事

第1号議案	平成25年度事業計画に関する件
第2号議案	平成25年度会費の賦課徴収に関する件
第3号議案	平成25年度会費減免申請に関する件
第4号議案	平成25年度入会金の賦課徴収に関する件
第5号議案	平成25年度予算に関する件
第6号議案	公益社団法人愛知県医師会選挙規則に関する件
第7号議案	公益社団法人愛知県医師会代議員会議事規則に関する件
第8号議案	公益社団法人愛知県医師会裁定委員会規則に関する件

協議

(3) 理事会 40回

◆ 毎月第1木曜日を除く第2～第5木曜日に開催。

内容については、その都度愛知医報に掲載しております。

(4) 各種委員会・部会・協議会・その他

・ 医学教育の向上

「現代医学」誌編集委員会	2回
「現代医学」誌座談会	2回
「現代医学」誌編集委員会幹事会	1回

指導医のための教育ワークショップ	1 回
治験審査会	12 回
・ 医師の生涯教育	
生涯教育委員会	1 回
・ 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究	
(調査室)	
調査室委員会	22 回
保険医協会との懇談会	5 回
(愛知県医師会総合政策研究機構)	
愛医総研委員会	7 回
愛医総研意見交換会	12 回
地域医療再生に関する多職種連携協議会	10 回
病院事務職員のための教育ワークショップ	2 回
地域医療再生研修事業講演会	1 回
・ 公衆衛生の指導啓発	
健康教育委員会	2 回
テレビ番組企画委員会	2 回
環境衛生委員会	4 回
予防接種広域化に関するプロジェクト	8 回
県下医師会予防接種事業担当理事連絡協議会（予防接種広域化事業に関する説明会）	1 回
結核及び環境保健講演会	1 回
・ 地域医療の推進発展	
難治性疾患委員会	2 回
愛知県糖尿病対策推進会議	1 回
愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会	1 回
愛知県糖尿病対策推進協議会	4 回
警察部会幹事会	2 回
災害発生時における検視等・検案業務に関する検討会	5 回
第36回事例症例検討会（警察部会）	1 回
検視立会医死体検案業務研修会	4 回
愛知県医師会検視医研修会	1 回
愛知県医師会警察部会と愛知県警察歯科医会との協議会	1 回

中部管区広域緊急援助隊合同訓練	1 回
麻薬等に関する懇談会	1 回
勤務医部会幹事会	6 回
愛知県医師会医療圏医療協議会	1 回
・ 救急医療・災害医療対策	
救急委員会	10 回
救急委員会小委員会	2 回
P T L S 講習会プログラム作成小委員会	1 回
手の外科に関する調査のための小委員会	1 回
第31回救急医療・災害医療シンポジウム事前打合せ会	1 回
愛知県救急医療情報センター運営連絡協議会	1 回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1 回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	7 回
A E D (B L S) 講習会 (名古屋市医師会と共に催す)	2 回
愛知県・豊田市総合防災訓練	1 回
愛知県救急医療推進大会	1 回
中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練	1 回
県営名古屋空港消火救難総合訓練	1 回
小児救急に関する研修会	1 回
愛知県医師会 P T L S 講習会	1 回
愛知県医師会 I C L S 研修会アシスタントインストラクター事前勉強会	1 回
愛知県医師会 I C L S 研修会	1 回
救急医療・災害医療シンポジウム	1 回
・ 地域保健の向上	
産業保健部会幹事会	6 回
学校保健部会幹事会	4 回
学校保健部会学校健診委員会	2 回
心電図精度管理調査解析検討会	1 回
学校保健シンポジウム	1 回
母体保護法指定医師審査委員会	6 回
母体保護法指定医師審査小委員会	2 回
母体保護法指定医師講習会	3 回
特定健診・保健指導研修会	7 回

・ 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	5 回
社保・福祉医療担当者指導委員会	9 回
社保・福祉医療担当者指導（小）委員会	2 回
保健診療懇談会	1 回
国保連絡協議会	2 回
障がい医療に関する研修会	1 回

(介護保険関連)

社会福祉専門委員会	8 回
介護保険対策推進検討会議	3 回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2 回
認知症サポート医フォローアップ研修	1 回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1 回
県下医師会介護保険・障害者自立支援担当理事連絡協議会	1 回
GOOD LIFE PROJECT（在宅医療に関するプロジェクト）	3 回
在宅医療ネットワーク「いきいき笑顔」連絡協議会	7 回
長久手市地域医療連携会議（愛・ながくて夢ネット連絡協議会）	3 回

・ 医療安全対策の推進

医療安全対策委員会	12 回
医療安全対策（小）委員会	10 回
医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会	12 回
医療安全支援センター（苦情相談センター）小委員会	5 回
愛知県医師会剖検システム運営協議会	1 回
死因究明システム推進委員会	5 回

・ 医療施設の整備

精度管理委員会	2 回
精度管理小委員会	1 回
精度管理研修会	1 回
共同利用施設委員会	1 回

・ 会員の福祉の向上

新入会員等説明懇談会	3 回
会員相談窓口事例検討会	6 回

・ 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動	
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会	2回
(広報)	
広報委員会	9回
報道関係者との懇談会	10回
・ 医師・医療関係従事者対策	
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会	5回
女性医師支援センター事業中部ブロック会議	1回
医学生、研修医等をサポートする会	1回
愛知県医師会若手医師委員会	2回
(医療従事者対策)	
愛知県医師会立名古屋助産師学院入学式	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院卒業式	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院運営協議会	2回
医療関係者・看護学校検討委員会	2回
医療事務員講習会	18回
医療事務員資格認定試験	1回
・ 会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	7回
定款諸規程等検討委員会	3回
議事運営委員会	3回
県下医師会庶務担当役員並びに事務局長 新公益法人化に関する連絡会議	1回
人事委員会	9回
選挙管理委員会	1回

2. 業務

(1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 四肢切断患者受け入れ状況アンケート調査
- 3) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 4) 熱傷入院患者取扱実績報告

- 5) 休日診療所における救急患者実態調査
- 6) 小児時間外救急に関するアンケート調査
- 7) 管轄下の行政との「災害時における協定書」の締結状況等調査
- 8) 年末年始期間中における救急医療体制について
- 9) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 10) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査
- 11) 検査に関するアンケート調査
- 12) いわゆる在宅医療の継続に関わる阻害因子解明のための追跡調査
- 13) 地域包括ケアシステムの構築に向けたアンケート調査
- 14) 学校医・園医報酬調査
- 15) 予防接種広域化に関する現況調査
- 16) 愛知県医師会治験推進事業に関するアンケート調査
- 17) 育児期継続就労支援に関するアンケート調査
- 18) 「現代医学」誌に関するアンケート

(2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・愛知医報
- ・「現代医学」誌 第60巻1号、2号
- ・新・学校医手帳

(3) 医学教育の向上

・現代医学

「現代医学」誌編集委員会幹事会において、今後の発行方針について議論し、60巻2号（12月発行）を発送する際に、アンケート調査を実施することとしました。

「現代医学」誌編集委員会において、6月開催時に60巻2号（12月発行）の、12月開催時に61巻1号（6月発行）の掲載内容を詳細に検討しました。

また、座談会を、60巻2号（12月発行）として、「認知症の予防と治療をめぐる最近の展開－新薬の登場を踏まえて－」をテーマに、61巻1号（6月発行）として、「超高齢社会における地域医療：在宅医療を中心に」をテーマにそれぞれ開催しました。

「現代医学」誌においては、60巻1号（6月発行）、60巻2号（12月発行）を発行し、また、会員用ホームページにPDFファイルを掲載しました。

・スポーツ医学

日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を以下のとおり、開催しました。

期日：平成 24 年 9 月 5 日（水）

会場：愛知県医師会館 地下講堂

演題：「どうして投げると痛いんですか？ 肩・肘の投球障害」

講師：名古屋スポーツクリニック 院長 杉本勝正

期日：平成 24 年 9 月 21 日（金）

会場：愛知県医師会館 地下講堂

演題：「膝の外傷・障害」

講師：朝日大学 スポーツ整形外科 塚原隆司

期日：平成 24 年 9 月 25 日（火）

会場：愛知県医師会館 地下講堂

演題：「プロサッカーチームでのメディカルサポートスポーツ現場での対処法について」

講師：至学館大学短期大学部 体育学科 近藤精司

・治験推進事業

会員による EBM (Evidence-Based Medicine) の実践を目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援、後方支援病院との連携、講演会・シンポジウム等の開催による啓蒙活動を行っております。

本会治験審査会は、主として製薬会社主導の治験審査を行っており、依頼者からの新規・継続案件について、実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行うため、毎月治験審査会を開催しており、本期間中の新規案件は 13 件でした。

また、本年度は生活習慣病を始めとする、新たな領域の治験実施医療機関の拡充を目的として、平成 24 年 12 月～平成 25 年 1 月に尾張及び三河地区の A 会員 2,675 名を対象にアンケート調査を行い、913 件の回答がありました。

尚、啓蒙活動としては、昨年度に引き続き、平成 24 年 8 月に“平成 24 年度 愛知県医師会治験セミナー 「よりよい薬を患者さんに届けよう”と題して、県民を対象とした講演会を行いました。

(4) 医師の生涯教育

・生涯教育

各会員に向けて、自身の生涯教育単位、カリキュラムコード取得状況を確認頂く為の封筒を作成し、配布致しました。

平成 24 年 6 月 30 日（土）ミッドランドホールにおいて「日医生涯教育協力講座セミナー てんかんの診断から最新の治療まで」（共催：日本医師会 愛知県医師会）を開催し、参加者数は、235 名ありました。

平成 25 年 1 月 19 日（土）ミッドランドホールにおいて「日医生涯教育協力講座セミナー 心房細動と脳梗塞」（共催：日本医師会 愛知県医師会）を開催し、参加者数は、274 名ありました。

「日本医師会生涯教育講座」を別紙のとおり、開催しました。また、平成 24 年度日本医師会生涯教育制度の単位申請をするにあたり、審査及び登録を行うとともに、主催者から提出される報告書を元に、「生涯教育管理システム」に登録しました。

（5）医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

・調査室

マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らず、それに影響する国内外の政治情勢、経済動向などに関する情報を収集し、議論を重ねた上で、るべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望をしております。

また、来年度は 3 年に 1 度の会員意識及び実態調査の実施年度にあたりますので、社会保障や医療制度など医療従事者を取り巻く状況を踏まえながら、調査項目の検討を進めております。

安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要と考え、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証しております。

税務対策として、白色申告者対象の確定申告に関する資料を作成し、対象者に配付しました。

・愛医総研

1) 地域医療再生調査研究事業

平成 21 年に策定されました愛知県地域医療再生計画に基づき、在宅医療を中心とした地域医療に関する調査を実施。県内全域に普及可能な地域医療連携のあり方について提言することを目的として、愛知県からの委託事業である地域医療再生調査研究事業を展開しております。具体的には「いわゆる在宅医療の継続に関わ

る阻害因子解明のための追跡調査」を行い、調査結果を分析しております。なお、本調査は愛知県医師会倫理委員会の承認を受けて行っております。

加えて、愛知県における地域医療を活性化するために、広く地域医療を担う関係者が協働して今後の地域医療のあり方を具体的に検討することを目的に、地域医療再生に関する多職種連携協議会を開催し、主に各職種間における連携連絡票や相談業務について検討しております。

また、地域医療に関するテーマに沿った講師を招聘し、意見交換会を原則月1回開催しております。

2) 地域医療再生研修事業

愛知県地域医療再生計画に基づき地域医療連携の必要性及びその具体的方策について習得することを目的に、地域医療を支える地域の医療機関の医師を始め、医療従事者及び事務職員を対象とした研修を愛知県からの委託を受け企画・開催しております。

(6) 公衆衛生の指導啓発

・ 健康教育

県民を対象とした健康教育講座を各分科会等からの協力のもと、本会館において別紙のとおり開催いたしております。

・ 環境衛生

1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等対策につきまして、県当局と連携し、地域医師会への情報提供を行いました。特に協議が必要な事項につきましては、環境衛生委員会を開催し、協議・検討いたしました。また、結核対策事業を地区医師会とともに企画し、講演会を開催しました。

2) 愛知県下における予防接種広域化実現に向け、プロジェクトチームを設置し、各地区の現況の確認、市町村の意思確認を行い、本県における広域化について検討、協議しました。また、12月19日(水)には市町村の担当者に、1月28日(月)には地区医師会の担当理事に、それぞれ本会にて検討した広域化について、提案しました。

なお、①県下全域での広域化を図る、②基本的には現在行われている各市町村単位での予防接種事業を踏襲し、区域外接種の事例のみを本事業の対象とする、③医師会会員が対象、④(研修会等を行う)運営協議会を医師会内に設置する、の4つのコンセンサスを理事会の承認を得て、関係各所と調整いたしました。

3) 2月19日(火)に結核及び環境保健講演会を開催し、「感染症サーベイランス(発生

動向調査・学校サーベイランス) 及び結核について」と題し、国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官 安井良則先生に、また「化学物質に関する話題の環境保健問題」と題し、岐阜薬科大学衛生学教授 永瀬久光先生に講演していただきました。

- 4) 日本医師会環境保健委員会、公衆衛生委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討、協議しました。
- 5) 11月10日(土)公害指定地域医師会東海ブロック連絡会、2月24日(日)大気汚染公害認定研究会に出席いたしました。
- 6) 愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課、愛知県衛生研究所等が主催する関係会議へ出席し、検討・協議・発言いたしました。

(7) 地域医療の推進発展

・医療連携

(医療計画)

各医療圏の医師会・病院関係者等が地域特性に応じた医療連携を視野に入れ、具体的な事案の意見交換並びに活動を通じ、それぞれの医療圏における保健・医療・福祉提供体制の整備及び充実を図ることを目的とし、愛知県医師会医療圏医療協議会を設けております。2月13日に開催し、医療計画の今後の方向について検討しました。

(病診連携)

地域医療支援病院の支援委員会や運営委員会、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めております。

また、新入会員等説明懇談会において県下の病診連携についての案内も積極的に行っております。

・難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の月平均の相談件数は、延172例の多数に達しております。
- 2) 「難病グループワーク（疾患別患者・家族のつどい）」を以下のように実施しました。

特発性血小板減少性紫斑病	11月19日（月）
筋萎縮性側索硬化症	11月26日（月）
網膜色素変性症	12月3日（月）
炎症性腸疾患	3月4日（月）
難病患者就労勉強会	3月18日（月）

3) 「難病講習会」を 10 月 10 日(水)、10 月 30 日(火)、11 月 5 日(月)に愛知県、名古屋市と共に開催し、合計 331 名の参加者がありました。

4) 平成 24 年 12 月 20 日(木)に開催された「平成 24 年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会(合同会議)」に参画しました。

5) 「難病講演会」を 3 月 7 日(木)に開催し、100 名の参加者がありました。

・糖尿病対策

糖尿病対策として、県民向けに愛知県医師会ホームページ上で、糖尿病食のレシピを公開しておりますが、糖尿病対策だけでなく、生活習慣病対策やダイエット等幅広く、より多くの方のお役に立てるよう、レシピを載せたリーフレットを 2 回 (summer・winter) を発行いたしました。また、多くの医療機関等に設置していただけるようアンケートを実施しました。愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会を 3 月 23 日(土) 栄ガスホールで開催いたしました。

・在宅医療

かかりつけ医を中心とした患者本位の地域医療の推進を目的として、GOOD LIFE PROJECT(在宅医療に関するプロジェクト)を立ち上げ、システムの構築、その有用性を確認するために検討を行いました。

東名古屋医師会豊明支部に設置している在宅医療ネットワークを東名古屋医師会長久手支部に設置し、本ネットワークの有用性、利便性について検証し、在宅医療の質を高めるための社会基盤としての定着を目指しております。

・警察医

警察行政全般に対し、事業計画に従い諸問題を検討いたしました。

愛知県警察医会と共に開催した第 36 回事例症例検討会を開催し、愛知県警察医会との連携推進を図っております。

9 月 1 日(土)に第 21 回愛知県医師会検視医研修会を行い、名古屋大学大学院医学系研究科法医・生命倫理学分野講座石井晃教授より、「検案等の注意点」をテーマに講演頂き、62 名の出席がありました。

検視医研修会終了後、第 13 回警察部会と警察歯科医会との協議会を行い、今後の両会の活動方針について話し合いました。

第 7 回検視立会医死体検案業務研修会(研修会 4 回、見学実習(大阪府監察医事務所))を開催し、全ての研修を受講修了した 11 名へ修了証を配付いたしました。

愛知県・豊田市総合防災訓練、中部国際空港消防救難・救急医療活動総合訓練、中部管区広域緊急援助隊合同訓練へ、医師を派遣し、愛知県警と連携して検視・検案訓練を行いました。

愛知県警、行政等の関係者にて「災害発生時における検視等・検案業務に関する検討会」を行い、災害時における検案班の派遣システムの構築等を協議しました。

検案を始めとした警察行政への協力の実態の把握、災害時検案班への登録確認等のため検案に関するアンケート調査を検視立会医を対象に行いました。

3月末時点で、検視立会医に200名が登録しております。

麻薬等に関する懇談会を開催し、関係団体との情報交換を行っております。

・勤務医

勤務医部会は、勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的としております。

会員勤務医の医師会諸活動への参加を促すとともに、医師会未加入の勤務医にも医師会活動全般をより深く理解して頂き、医師会への入会を働きかけるよう様々な勤務医対策の検討を行っております。

具体的には、隔月開催の定例幹事会において、過重労働や女性医師の就業支援等、勤務医が抱える問題について検討し、その解決に向けて取り組んでおります。今年度は、「愛知県勤務医師名簿（平成24年7月1日現在）」を発刊し、ご協力頂いた医療機関及び各施設等に配付いたしました。

また、10月6日には全国医師会勤務医部会連絡協議会が、「新しい医療の姿－勤務医の明日－」をテーマとして愛媛県で開催されました。協議会では、愛媛宣言が採択され、本部会からは4名が出席いたしました。

広報活動としては、「愛知医報」の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載しております。

この他、当部会の重要な活動として、愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の向上にも力を入れております。6月20日には、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ちまして、東京大学医学系研究科保健政策学教授 渋谷健司先生をお招きし、「国民皆保険制度50年の計」と題した講演会を共催で開催いたしました。

・自殺対策

1) 愛知県自治センターで開催された平成24年度愛知県自殺対策推進協議会第1回と第3回に出席いたしました。

第1回 11月5日（月）14：00～16：00

第3回 3月15日（金）16：00～17：30

2) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、厚生労働省「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、下記の

とおり研修会を開催いたしました。

10月14日（日）13:00～17:00	名鉄グランドホテル	参加者：33名
12月2日（日）13:00～17:00	中日パレス	参加者：33名
1月27日（日）13:00～17:00	豊田キャッスルホテル	参加者：29名

(8) 救急医療・災害医療対策

・災害・救急医療対策

愛知県広域災害・救急医療情報システム並びに愛知県医師会無線システム、災害時優先携帯電話の運用訓練を行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行っております。

医師、医療従事者、消防関係者対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、110名が出席し、修了証を配付しました。

愛知県・豊田市総合防災訓練、中部国際空港消防救難・救急医療活動総合訓練、県営名古屋空港消防救難総合訓練に参加し、情報センターの情報収集、提供活動として、無線、携帯電話のメール機能を利用し、後方搬送医療機関の空床状況、受入可能な患者数等の情報を確認し、現地本部にて後方搬送時の判断情報として、提供いたしました。

日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁、県が作成した救急医療週間ポスター、C A B + D カードの配布を行い、救急週間の啓発に努めました。また、愛知県救急医療推進大会を県・外科医会との共催により、9月7日（金）に開催し、「これからのです」をテーマに講演会を行いました。また、救急蘇生法、A E D の講習を行い、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り85名が出席し、修了証を配付いたしました。

名古屋市医師会との共催によるA E D（B L S）講習会（名古屋市医師会館）、本会主催のA E D（B L S）講習会（半田市医師会健康管理センター）を開催し、医師、医療従事者等を含め60名が出席し、修了証を配付いたしました。

小児救急に関する研修会を医師、学校関係者を対象に開催し、189名の出席がありました。

愛知県医師会P T L S講習会を開催し、20名の出席があり、修了証を配付いたしました。

中部医師会連合広域災害救急医療担当理事連絡協議会が11月18日（日）に開催され、中部7県の救急・災害医療に関わる活動についての意見交換を行い、連携強化、

情報の共有化を図っております。

県下各医師会へ管轄下の行政との「災害時における協定書」の締結状況等の調査を実施し、行政との災害時における協定締結の推進を図っております。

愛知県医師会 I C L S 研修会を開催し、医師会員がコースディレクターを務め、18名が出席し、修了証を配布いたしました。また、インストラクター養成のため、「愛知県医師会 I C L S 研修会アシスタントインストラクター事前勉強会」を開催し、愛知県医師会 I C L S 研修会にて 4 名がアシスタントインストラクターとして出席いたしました。

救急医療・災害医療シンポジウムを 3 月 9 日（土）に開催し、「労災を中心とした切断肢指に対する緊急手術システムの現状と問題点」と題し、現状と今後の課題についてご講演いただき、その後会場の方々も交え討論いたしました。

「愛知県医師会災害医療救護活動マニュアル（第 5 版）」を作製し、本会及び会員の対応方法の指針を示すべく、また医療救護体制の万全を期すために配布いたしました。

デザインを一新し防災服等を 50 セット作製、購入いたしました。

・救急医療情報システム

年末年始期間中の救急体制について、県下各医師会に調査を行い、情報センターの案内業務に役立てました。

救急患者、急性期脳卒中、熱傷、休日診療所における救急患者、小児時間外救急に関する調査、気管支喘息発作に関する調査、急性心筋梗塞に関する調査について、昨年に引き続き、四肢切断患者受け入れ状況については新たにアンケート調査を実施いたしました。

愛知県救急医療情報センター運営連絡協議会を開催し、平成 24 年度の案内状況について、各種統計データを基に報告いたしました。

愛知県小児救急電話相談事業は、平成 24 年 4 月より民間委託となり愛知県が運営しております。

(9) 地域保健の向上

・産業保健

1) 産業医学振興財団の委託事業である産業医研修事業について、産業医基本研修、リフレッシャー研修、特定科目専門研修を日本医師会認定産業医研修会として、産業医研修連絡協議会を本会産業保健部会幹事会として実施しております。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催しております。

- 2) 10月11日（木）に日本医師会館で開催された第34回産業保健活動推進全国会議に出席いたしました。
- 3) 11月5日（月）に愛知産業保健推進センターで開催された平成24年度第1回愛知産業保健推進センター運営協議会に出席いたしました。
- 4) 愛知県地域産業保健事業の運営ならびに愛知産業保健推進センター事業の支援をしました。
- 5) 本年度の日本医師会認定産業医については、3月末現在で新規申請者119名および更新申請者697名が認定を受けました。
- ・学校保健の推進
- 1) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、学校保健シンポジウム、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討、協議いたしました。
 - 2) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会、愛知腎臓財団等の関係会議へ出席し、検討・協議・発言いたしました。また、愛知県学校保健会の行事に参加しました。
 - 3) 7月8日（日）に心電図精度管理調査解析検討会が開催され、県内の小中高等学校より提出のあった心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析が行われました。
 - 4) 7月30日（月）に小児CKD（慢性腎臓病）対策講習会を本会館にて開催し、135名の参加がありました。
 - 5) 日本医師会学校保健委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討、協議しました。
 - 6) 9月8日（土）東海学校保健学会（鈴鹿短期大学）、11月10日（土）全国学校保健・学校医大会（熊本市）、11月9日（金）～11日（日）日本学校保健学会（神戸市）が開催され、本会からも出席し、藤田保健衛生大学医学部4年生への講義に関する取り組みについて、発表しました。
 - 7) 愛知県学校保健健診協議会が愛知県医師会館で開催され（毎月第二火曜）、本会からも出席し、検討・協議・発言いたしました。また、1月14日（月・祝）には、愛知県学校保健健診懇談会が愛知県医師会館で開催され、本会からも出席いたしました。なお、愛知県学校保健健診協議会は平成25年3月をもちまして、解散することとなりました。
 - 8) 3月3日（日）に学校保健シンポジウムを開催し、123名の参加がございました。特別講演として、「子どものうつ病」と題し、あいち小児保健医療総合センター心療科医長 新井康祥先生にご講演いただきました。引き続きシンポジウムでは、

「学校での救急処置について（AEDを含む）」をテーマに、「愛媛県の学校の救急医療体制について」と題し、愛媛大学医学部附属病院 小児総合医療センター 小児循環器部門特任教授 檜垣高史先生にご講演いただきました。続いて、「小児の救急処置（疫学と臨床）」をあいち小児保健医療総合センター循環器科医長 福見大地先生、「愛知県医師会が取り扱う児童生徒の心臓突然死と学校管理下における救急処置の取り組みと今後」を愛知県医師会理事 稲坂博先生、「学校での救急処置－教育委員会より－」を愛知県教育委員会健康学習課安全グループ指導主事 外山恵子先生に発表いただき、会場から多くの質問が寄せられました。

・母体保護法指定医師の指定

- 1) 平成24年4月～平成25年3月までに60名の母体保護法指定医師を指定いたしました。新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施しております。
平成25年3月末日における母体保護法指定医師は、446名です。
- 2) 平成24年度更新対象者223名に対し、7月28日（土）・8月25日（土）・9月19日（水）に母体保護法指定医師講習会を開催いたしました。

・保健事業

- 1) 各種保健事業等につき県当局と協議を重ね、その対策に努力いたしております。
- 2) 平成20年から実施されました医療保険者に義務付けられました特定健診・保健指導事業に対応すべく努力いたしております。
- 3) 特定健診・保健指導研修会を開催しております。

今年度開催した研修会は別紙の通りです。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

・社会保険

- 1) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導・監査の立会いを実施いたしました。
- 2) 会員を対象に、社保集団指導講習会並びに医療安全説明会を5回実施いたしました。
- 3) 情報収集・意見交換等を目的に8月19日（日）に、「中部医師会連合社会保険特別委員会」に出席いたしました。
- 4) 障害者が医療機関を安心して受診できるよう、医療従事者向け研修会を1月26日（土）に実施いたしました。

(介護保険関連)

- ・介護保険関連

社会福祉専門委員会では、介護保険、高齢者福祉、障害者福祉、認知症対策等に関する各地区の諸問題について、行政・地区医師会と連携しながら、報告及び検討を重ねております。

10月27日（土）と11月10日（土）には、かかりつけ医認知症対応力向上研修を開催し、修了者は52名되었습니다。

12月8日（土）には、保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウムを「今後の地域包括ケアシステム～在宅医療連携拠点事業所とその体制について～」をテーマに開催し、参加者は396名でした。

2月13日（水）には、県下医師会介護保険・障害者自立支援担当理事連絡協議会を開催し、参加者は93名でした。

3月20日（水・祝）には、認知症サポート医フォローアップ研修を開催し、参加者は31名でした。

また、情報収集・意見交換等を目的に8月19日（日）には「中部医師会連合介護保険特別委員会」、10月13日（土）・14（日）には「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業都道府県リーダー研修」、2月7日（木）・14日（木）には「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業地域リーダー研修」、3月17日（日）には「日本医師会在宅医療支援フォーラム」に出席いたしました。

あいち在宅医療ネットについては、登録医療機関の情報を更新いたしました。愛知医報・各種会合等を通じて会員・関係機関へのPRを行うと共に、新規登録医療機関を随時募集しております。

（11）医療安全対策の推進

- ・医療事故・医事紛争対策

1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討をいたしております。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方について、医療安全対策小委員会で検討しております。

2) 日本医師会「医療安全対策委員会」に細川理事が委員として参加しております。委員会設置の目的は、日本医師会長の諮問内容である「成果が見える医療安全を目指して」です。平成25年3月までに計5回の委員会が開催され、議論を重ねております。

3) 平成25年2月より、日本医師会「死因究明推進二法に関する検討会」に細川理事

が委員として参加しております。検討会設置の目的は、政府の死因究明等推進会議の議論状況を踏まえつつ、死因究明に関する手法の有機的な活用と、死因究明制度全体のあり方について、日本医師会として公益的な見地からの提言を発信するための視座を提供することです。平成 25 年 3 月までに計 2 回の検討会が開催され、検討を重ねております。

- 4) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、平成 24 年度中に 20 件日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠責特約保険」の加入者は、3 月末現在で 1,618 名になっております。

・医療安全支援センター(苦情相談センター)

- 1) 4 月～3 月の相談受付回数は新規・継続ケースを合わせて 1,442 回となっております。相談窓口業務を相談員が担い、対応については、担当理事並びに医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会の専門委員によって適切になされております。
- 2) 平成 24 年度「愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会」の第 1 回を 7 月 21 日(土)、第 2 回を 9 月 6 日(木)、第 3 回を 1 月 19 日(土)に開催し、第 1 回には 171 名、第 2 回には 197 名、第 3 回には 256 名、合計 624 名の参加者がありました。
- 3) 平成 24 年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第 1 回講演会「—医療におけるコンプライアンス(法令遵守)に関する講演会—」を平成 24 年 5 月 19 日(土)に開催し、351 名の参加者がありました。
- 4) 平成 24 年度「リビング・ウィル(終末期の医療やケアについての意思表明)に関する講演会」を 11 月 14 日(水)に開催し、316 名の参加者がありました。
- 5) 11 月 23 日(金)・24 日(土)に開催された「医療の質・安全学会第 7 回学術集会」で学会発表を行いました。
- 6) 平成 25 年 2 月 5 日(火)に開催された「平成 24 年度愛知県医療安全推進協議会」に参画し提言を行いました。
- 7) 平成 25 年 2 月 14 日(木)に開催された「医療安全支援センタージョイントミーティング(JM)全国大会」に講師を派遣しました。
- 8) 『愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会報告集 2012』、『医療に関する苦情相談センター事例集 2012』を作成し、会員始め関係機関へ配布しました。

・医療安全対策

- 1) 医療従事者向けの講習会として、平成 24 年 10 月 1 日(月)に、名古屋大学大学

院医学研究科生体管理医学講座臨床感染統御学分野教授八木哲也氏を講師に迎え、「高齢者感染症診療と感染対策のポイント」の演題でウインクあいち大ホールにおいて開催いたしました。参加人数は379名でした。

- 2) 県民向けの講習会として、平成24年12月19日(水)に、独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所生活機能賦活研究部長大川弥生氏を講師に迎え、「生活不活発病を防ごう—災害時・平常時の健康づくりのために—」の演題でウインクあいち大ホールにおいて開催いたしました。参加人数は240名でした。
- 3) 医療従事者向けの講習会として、平成25年2月1日(金)に、名鉄病院予防接種センター長宮津光伸氏を講師に迎え、「最近のワクチン事情」の演題でウインクあいち大ホールにおいて開催いたしました。参加人数は300名でした。
- 4) 医療安全対策委員会「勉強会」として、平成25年2月16日(土)に、昭和大学病院病院長有賀徹氏を講師に迎え、「診療関連死と事故調査のあり方について」の演題で名古屋東急ホテルにおいて開催いたしました。参加人数は56名でした。
- 5) 平成22年度より医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき順調な運営を続けております。
- 6) 医療機関内での死亡原因を解明することにより、医師等医療従事者と医療を受ける県民が相互に安心と信頼のもとに医療に関わることができるシステムを確立することを目的として、「死因究明システム推進委員会」にて検討を重ねて参りました。平成25年3月には、システムの目的、対象、組織等について纏めた報告書を発行し、県下A会員並びに関係機関に配布いたしました。

(12) 医療施設の整備

- ・共同利用施設並びに臨床検査精度管理

共同利用施設については、県下医師会の共同利用施設と連携しつつ、11月4日(日)に富山県に於いて開催された「中部医連共同利用施設連絡協議会」に参加するとともに、事例発表者として半田市医師会副会長・半田市医師会健康管理センター所長の花井俊典先生を推薦いたしました。

臨床検査精度管理については、県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査（血清学・血液学・病理学・生化学）を実施いたしました。

(13) 会員の福祉の向上

- ・生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、現在 8 社、契約人数 865 人、契約件数 1,308 件であり、月掛取扱保険料は、8,141 万余円であります。

- ・会員相談窓口

- 1) 平成 22 年 9 月 1 日に会員福祉を目的として設置され、平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月の相談件数は新規・継続合わせて 156 件あり、その内、医療安全対策委員会で諮られた事例は 12 件でした。相談の対応については、担当理事並びに会員相談窓口事例検討会の委員によって適切になされております。
- 2) 平成 24 年 4 月 16 日より、専門の相談員による診療報酬に関する相談窓口を開設し、平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月の相談件数は 160 件となりました。
- 3) 「愛知県医師会会員相談窓口 2011 事例集」を作成し、A 会員へ配付しました。

(14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉外)

- ・中部医連

富山県が主務担当となり、常任委員会 13 回、常任委員会懇談会 2 回、中部医連日医代議員協議会 2 回が開催され、当面する諸問題について協議、検討いたしました。また、事務局長連絡協議会が 2 回開催されました。

平成 24 年 11 月 17 日(土)、18 日(日)、富山県において委員総会が開催され、決算・予算等の承認が行われました。次期当番県は岐阜県に決まりました。

- ・関西医連

愛知県が主務担当となり、京都市において関西医師会連合常任委員会が開催されました。次年度主務担当県は三重県です。

(IT 化対策)

- ・ホームページ・IT 化対策

- 1) 遠隔地同士を結んだ遠隔講演会システムについて、講演会を各地区の各講堂へ転送し、別会場からも講演会に参加できるように設営しました。今後、どの講演会でも活用できるよう、引き続き運用ノウハウを蓄積して参ります。
- 2) 災害時安否情報確認システムについて、第 1 回訓練を 9 月 9 日(日)に実施いたしました。回答数は 449/711 で回答率は約 70% でした。
- 3) 理事会に使用していたモニタのリース満了に伴い、新しいペーパーレス会議システムを iPad を用いて構築いたしました。
- 4) 過不足なく迅速に会員への情報提供を図るため、ホームページ及び愛医通信を運

用し、内容の充実に努めております。

(広報)

・広 報

対外活動のひとつとして、健康・医療・福祉について県民とともに考え、また医師会活動を紹介するために、テレビ番組“健康ワンダフル”（テレビ愛知）を企画、制作し、「別紙」のような内容で毎月最終土曜日に放映いたしております。

・対外広報

報道関係者と原則毎月第4木曜日に懇談会を開催し、医療問題等について積極的に話し合いを行っております。

(15) 医師・医療関係従事者対策

(医師確保対策事業の推進)

・医師確保

本会では、平成18年9月1日より事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター（ドクターバンク）窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っております。現在、宮治 真所長管轄の下、求職中の医師並びに求人中の医療機関等の間に立ち、両者の希望を面談にて確認した上で、条件等のマッチングを図っております。

求職医師と求人医療機関を引き合わせた後、採用が成立した場合は、勤務開始後1～2ヵ月後を目処に、紹介した医師並びに医療機関の間で条件のミスマッチが生じていないか調査し、両者の調整に努めております。

また、広報面では、愛知医報並びにホームページにてドクターバンクに登録のある求人医療機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供するよう努めております。

今年度は、県外の求職者に当センターを周知するため、チラシを作成し、各都道府県医師会・県外大学医学部等へ配布いたしました。

この他、愛知県医師会勤務医部会幹事会にて事業報告を行い、愛知県内病院幹部である役員より意見を募り、事業運営に役立てるよう意見交換を行っております。

・男女共同参画

1) 近年、医療現場で働く女性医師数が増加している一方、医師としてのキャリアと家事・育児を両立する難しさ等、数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の活用は必要不可欠なことと考え、多くの諸問題に取り組みました。

2) 11月18日（日）に名鉄トヤマホテルで「女性医師支援センター事業中部ブロック

会議」を開催いたしました。

- 3) 1月22日(火)に名古屋大学で「医学生、研修医等をサポートする会」を開催いたしました。

- ・若手医師の会に関する活動

現在、本会の約半数の会員は勤務医会員であり、勤務医に如何に医師会の活動に参加してもらうかが大きなテーマであります。しかしながら、若手の病院勤務医師の入会率は極めて低いのが現状です。

そこで、本会として広く各診療科の見識を持つ若手医師を育てる為に、ジェネラルマインド医師養成セミナーを開催しております。本セミナーは特に外来診療と各診療科への知識向上に資するものです。また、医師会と若手医師の関係が近しくなり、医療政策に若手の意見が反映されるよう努めております。

今年度開催したセミナーは別紙の通りです。

また、若手医師にとって関心の高い医療問題に関しディスカッションできる場を目的とし、愛知県医師会若手医師委員会を設けております。

- ・新医師臨床研修制度

平成16年4月から必須化された“医師の新臨床研修制度”に係る指導医の養成のため、年1回「指導医のための教育ワークショップ」を計画し、開催しております。

本年度は1月19日(土)～20日(日)の2日間での開催を計画し、指導いただくなタスクフォースを始め多くの先生方と準備を進め、県内17病院から24名の申し込みがあり全員が受講修了いたしました。

また、平成21年4月より、指導医に関する要件として「プライマリ・ケアの指導方法等に関する講習会を受講していることを必須とする」ことが追加されたことから、強く参加を呼び掛けました。

(医療従事者対策)

- ・医療従事者対策

- 1) 医療関係者・看護学校検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等を報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行なえるよう検討いたしております。

3月には、参考資料として医療従事者の給与基準表(学生、有資格者及び医療事務員)を作成し、三河、尾張地区の会員に配布いたしました。

- 2) 医師会立准看護学校の広報として、学生募集広告を12月9日(日)に中日新聞に掲載し、併せてJR東海(東海道本線・中央本線(一部、関西本線))の電車車両内に平成24年12月1日から12月31日の1ヶ月間、また、名鉄西尾駅構内に平

成24年12月11日から平成25年1月14日の1ヶ月間、学生募集広告を掲載しました。

- 3) 医療従事者関係無料職業紹介所を常設し、取扱い職業を医療関係者とし、求人・求職の登録、紹介と斡旋を行っております。
- 4) 医療事務員講習会を7月・11月の18日間で、計30科目を行いました。また、修了者に対して資格認定試験を実施いたしました。

(助産師学院)

平成24年4月6日(金)に愛知県医師会館にて入学式が行われ、20名が入学しました。

平成25年3月13日(水)に愛知県医師会館にて卒業式が行なわれ、19名が卒業しました。

(医療秘書学院)

- 1) 医師の良き補佐役となる医療秘書を養成しております。4月22日(日)に入学式を挙行し25名を新しく迎え入れ、平均月2回のスクーリングとレポートで、医学基礎知識や医療保険請求事務について学び、日本医師会認定医療秘書の取得を目指しております。3月10日(日)の卒業式では、14名の方を輩出し、そのうち9名が日本医師会認定医療秘書を取得されました。
- 2) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会の当番県として、運営いたしました。

(16) 会務運営・総務・財務

・会館整備

会館運営については、電気設備、空調設備、清掃等各関係業者との保守管理契約を結び、会館の維持管理に努めています。

・会館運営

建物及び設備の法定調査に於いて改善指摘を受けた個所を中心に、修繕等を実施しました。また定期点検も各法に基づいて実施しました。

本会館側壁の「愛知県医師会館」袖看板老朽化による修繕を9月2日～10月5日にかけ実施しました。

会館内エレベーターが、取付から30年余を経過し部品供給が停止されることとなり、併せて保守契約も終了することからリニューアルを検討いたしました結果、制御システムの交換に災害対策を加えた改修工事を平成25年1月12日～1月30日にかけ実施しました。

また、館内の発電機用設備の入替えについても、2回にわけて実施を計画し、1回目

の入替えを9月2日に実施し、2回目の入替えを12月15日に実施しました。

(17) その他

・会員名簿の作成

平成24年版会員名簿を作成し、12月にA会員に冊子を送付しました。

24年版より併せてCD版も作成することになり、1月に全会員に送付しました。

会員数

平成25年3月31日現在の本会会員数は8,838名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分		会 員 数
名 古 屋 市		3,425
一 宮 市		512
瀬 戸 旭		214
半 田 市		117
春 日 井 市		280
津 島 市		72
小 牧 市		114
東 海 市		96
岩 倉 市		43
東 名 古 屋		213
西 名 古 屋		142
尾 北		279
稻 沢 市		125
海 部		210
知 多 郡		268
豊 橋 市		475
岡 崎 市		432
豊 川 市		160
碧 南 市		55
刈 谷		219
豊 田 加 茂		413
蒲 郡 市		85
安 城 市		181
西 尾 輜 豆		119
北 設 楽 郡		8
新 城		41
田 原 市		49
名 大		204
名 市 大		121
藤 保 大		87
愛 医 大		79
合 計		8,838

物故会員

(平24.4~平25.3届出分)

氏名	年齢	地区別	死亡年月日
峰野 澄子 殿	84 歳	名古屋市緑区	H24.1.7
真砂 綾子 殿	101 歳	名古屋市北区	H24.2.6
高須 梅代 殿	97 歳	蒲郡市	H24.2.14
柴田 英夫 殿	85 歳	名古屋市昭和区	H24.2.20
山口 恒夫 殿	86 歳	名古屋市中川区	H24.3.6
辻 太 殿	71 歳	小牧市	H24.3.12
角鹿 義夫 殿	63 歳	海部	H24.3.16
加藤 豊明 殿	85 歳	瀬戸旭	H24.3.20
水谷 孝文 殿	81 歳	名古屋市天白区	H24.3.20
宮地 信尚 殿	90 歳	豊川市	H24.3.21
可児 昭三 殿	84 歳	名古屋市瑞穂区	H24.3.25
三沢 鈴介 殿	102 歳	豊橋市	H24.3.27
川路 綾子 殿	81 歳	名古屋市西区	H24.4.2
服部 保 殿	84 歳	名古屋市北区	H24.4.11
西山 真之 殿	40 歳	豊橋市	H24.4.11
服部 昇 殿	87 歳	一宮市	H24.4.12
杉浦 裕 殿	59 歳	名古屋市昭和区	H24.4.14
廣井 潤 殿	84 歳	東海市	H24.4.16
木村 浩 殿	79 歳	知多郡	H24.4.22
七原 五壽雄 殿	90 歳	春日井市	H24.4.23
山田 政法 殿	88 歳	名古屋市中区	H24.4.25
伊藤 廉爾 殿	78 歳	知多郡	H24.4.29
内藤 浩一 殿	50 歳	一宮市	H24.5.3
西川 久和 殿	64 歳	名古屋市中川区	H24.5.12
小倉 貞雄 殿	87 歳	名古屋市昭和区	H24.5.13
石原 正樹 殿	83 歳	名古屋市守山区	H24.5.14
村田 武 殿	85 歳	東海市	H24.5.27
竹内 光夫 殿	92 歳	知多郡	H24.5.29

早川 良平 殿	76 歳	東 名 古 屋	H24. 5. 31
堀田 克稔 殿	85 歳	名古屋市昭和区	H24. 6. 9
岩井 淳 殿	86 歳	名古屋市千種区	H24. 6. 16
小澤 祐子 殿	84 歳	名古屋市中川区	H24. 6. 20
印牧 富郎 殿	88 歳	名古屋市南区	H24. 6. 24
加藤 政仁 殿	65 歳	瀬 戸 旭	H24. 7. 3
杢野 壽一 殿	88 歳	豊 橋 市	H24. 7. 8
高橋 大輔 殿	40 歳	愛知医科大学	H24. 7. 17
加藤 正三 殿	92 歳	海 部	H24. 7. 20
佐々木 龍夫 殿	87 歳	名古屋市熱田区	H24. 8. 8
加藤 隆 殿	84 歳	名古屋市千種区	H24. 8. 10
大原 好雄 殿	87 歳	岡 崎 市	H24. 8. 13
坂 義満 殿	58 歳	名古屋市天白区	H24. 8. 16
竹内 ひで子 殿	95 歳	一 宮 市	H24. 8. 19
林 幸彦 殿	94 歳	名古屋市中川区	H24. 8. 24
小川 悟 殿	86 歳	名古屋市瑞穂区	H24. 9. 1
柴田 邦雄 殿	84 歳	岡 崎 市	H24. 9. 1
棚橋 紘雄 殿	70 歳	名古屋市名東区	H24. 9. 3
福井 良治 殿	58 歳	名古屋市西区	H24. 9. 3
小篠 築 殿	87 歳	知 多 郡	H24. 9. 4
上條 正啓 殿	76 歳	岩 倉 市	H24. 9. 9
森 美和子 殿	87 歳	知 多 郡	H24. 9. 11
園原 優 殿	80 歳	名古屋市名東区	H24. 9. 12
旭 勝利 殿	93 歳	名古屋市天白区	H24. 9. 21
青木 常雄 殿	88 歳	名古屋市中川区	H24. 9. 28
森島 錄之 殿	87 歳	豊 田 加 茂	H24. 10. 3
齋藤 薫 殿	93 歳	豊 橋 市	H24. 10. 7
鈴木 浩平 殿	97 歳	名古屋市中区	H24. 10. 10
小澤 武男 殿	90 歳	一 宮 市	H24. 10. 12
林 治生 殿	75 歳	刈 谷	H24. 10. 12
中野 邁 殿	86 歳	春 日 井 市	H24. 10. 19

肥 田 野 昂 殿	77 歳	一 宮 市	H24. 10. 27
鈴 木 多 恵 子 殿	86 歳	名 古 屋 市 天 白 区	H24. 10. 28
太 田 喜 昭 殿	84 歳	名 古 屋 市 中 村 区	H24. 10. 28
植 村 晴 夫 殿	88 歳	安 城 市	H24. 11. 11
宇 野 淳 殿	68 歳	一 宮 市	H24. 11. 11
川 村 雄 一 殿	74 歳	海 部	H24. 11. 12
森 島 か よ 子 殿	85 歳	名 古 屋 市 瑞 穂 区	H24. 11. 20
上 條 信 次 殿	84 歳	豊 橋 市	H24. 11. 21
木 村 洋 殿	86 歳	名 古 屋 市 名 東 区	H24. 11. 29
神 谷 泰 隆 殿	54 歳	稻 沢 市	H24. 11. 30
都 築 正 志 殿	87 歳	名 古 屋 市 北 区	H24. 12. 11
小 林 清 殿	97 歳	碧 南 市	H24. 12. 17
田 中 章 司 殿	87 歳	蒲 郡 市	H24. 12. 21
岩 瀬 敬 司 殿	93 歳	岡 崎 市	H24. 12. 24
加 藤 正 雄 殿	93 歳	名 古 屋 市 天 白 区	H24. 12. 29
平 野 清 九 郎 殿	84 歳	津 島 市	H25. 1. 3
高 橋 道 夫 殿	93 歳	名 古 屋 市 中 川 区	H25. 1. 6
吉 野 希 也 殿	89 歳	春 日 井 市	H25. 1. 7
山 田 哲 男 殿	66 歳	知 多 郡	H25. 1. 12
長 谷 川 悅 殿	90 歳	豊 田 加 茂	H25. 1. 14
藍 田 靖 殿	92 歳	刈 谷	H25. 1. 14
河 村 昭 德 殿	73 歳	尾 北	H25. 1. 17
村 上 信 之 殿	67 歳	刈 谷	H25. 1. 24
鈴 木 康 夫 殿	99 歳	豊 橋 市	H25. 1. 30
中 村 新 三 殿	92 歳	名 古 屋 市 南 区	H25. 1. 30
森 治 平 殿	86 歳	名 古 屋 市 中 村 区	H25. 2. 1
竹 井 多 喜 馬 殿	81 歳	知 多 郡	H25. 2. 2
山 村 黙 弘 殿	75 歳	名 古 屋 市 名 東 区	H25. 2. 7
山 田 晃 弘 殿	59 歳	名 古 屋 市 名 東 区	H25. 2. 9
佐 野 三 郎 殿	81 歳	名 古 屋 市 守 山 区	H25. 2. 14
宮 本 末 雄 殿	96 歳	新 城	H25. 2. 16

会館会議室等使用状況

会 場 名	件 数
B 1 講 堂	60
4 F 理 事 会 議 室	64
5 F 501 会 議 室	169
6 F 601 会 議 室	122
6 F 研 修 室	134
7 F 情 報 センタ ー研修室	35
8 F 801 会 議 室	181
8 F 802 会 議 室	144
8 F 803 会 議 室	136
8 F 804 会 議 室	132
8 F 805 会 議 室	72
8 F 応 接 室	61
9 F 大 講 堂	166
合 計	1,476

平成24年度 日本医師会生涯教育講座

【外科】	
期 日	平成24年8月22日 (水)
会 場	愛知県医師会館 9階 大講堂
共 催	愛知県外科医会
司 会	
司 会	愛知県外科医会生涯教育委員会委員長 早川直和
座 長	宮根はやしクリニック院長 林 敬一郎
演 題	「胃癌治療の現状と展望 内科医の立場から」
講 師	愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部 部長 室 圭
座 長	愛知県外科医会生涯教育委員会委員長 早川直和
演 題	「胃癌外科治療の現状と展望」
講 師	愛知県がんセンター 総長 木下 平
参加者 43名	

【産婦人科】	
期 日	平成24年8月25日 (土)
会 場	愛知県医師会館 9階 大講堂
共 催	愛知県産婦人科医会
テー マ	
テー マ	産婦人科内視鏡下手術の現況
司 会	名古屋市立東部医療センター 副院長 産婦人科部長 村上 勇
座 長	藤田保健衛生大学 医学部 産婦人科学教室 廣田 穂
演 題	「当院における内視鏡下手術の現況」
講 師	名古屋市立東部医療センター 副院長 産婦人科部長 村上 勇
演 題	「腹腔鏡下子宮体がん根治手術 先進医療を取得して」
講 師	愛知医科大学 産婦人科学教室 主任教授 若槻明彦
演 題	「子宮内膜症、子宮筋腫と内視鏡下手術 溫存手術を中心に」
講 師	名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター 准教授 岩瀬 明
演 題	「先進的腹腔鏡手術への取り組み TANKOからda Vinciまで」
講 師	藤田保健衛生大学 産婦人科講師 安江 朗
参加者 169名	

【プライマリ・ケア講座】	
期 日	平成24年8月30日 (木)
会 場	愛知県医師会館 9階 大講堂
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会副委員長 佐藤 徹
演 題	「認知症の最新のトピックス」
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学准教授 田中章景
演 題	「骨粗鬆症性脊椎骨折の予防と治療」
講 師	名古屋大学整形外科 助教 脊椎外科主任 今釜史郎
演 題	「COPD診療の新しい展開」
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学病院教授 佐藤滋樹
参加者 28名	

【眼科】	
期 日	平成24年9月8日 (土)
会 場	愛知県医師会館 9階 大講堂
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県眼科医会理事 中村 誠
演 題	「糖尿病最近の話題」
講 師	中部労災病院 副院長 佐野隆久
演 題	「屈折矯正手術の現状」
講 師	京都府立医科大学眼科 助教 碑田 牧
参加者 148名	

【精神科】	
期 日	平成24年9月13日 (木)
会 場	愛知県医師会館 地下 健康教育講堂
共 催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 平山太日子
演 題	「サイコオンコロジー（精神腫瘍学）：がん医療におけるこころの医学」
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授 明智龍男
参加者 6名	

【内科】

期 日	平成24年10月13日 (土)
会 場	愛知県医師会館 9階 大講堂
共 催	愛知県内科医会
テー マ	画像診断と心不全治療の最新の進歩
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員長 太田 宏
演 題	「MR I エッセンシャル 撮像の基礎から画像の見方まで」
講 師	名古屋第二赤十字病院 第一放射線科副部長 伊藤雅人
演 題	「心不全の病態・診断・治療アップデート」
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学 病院教授 大手信之
	参加者 30名

【耳鼻咽喉科】

期 日	平成24年10月27日 (土)
会 場	愛知県医師会館 9階 大講堂
共 催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 石田和也
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 星野通隆
演 題	「嗅覚上皮の電気生理学」
講 師	藤田保健衛生大学 医学部 生理学II 准教授 河合房夫
座 長	愛知県医師会生涯教育委員会委員 石田和也
演 題	「めまいの話 耳が原因? 脳が原因?」
講 師	名古屋大学耳鼻咽喉科教授 中島 務
	参加者 88名

【皮膚科】

期 日	平成24年11月17日 (土)
会 場	愛知県医師会館 地下 健康教育講堂
共 催	愛知県皮膚科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 大野盛秀
演 題	「なおしにくい爪と皮膚潰瘍 最近の治療方法と今後の展望」
講 師	名古屋市立大学 加齢・環境皮膚科 講師 新谷洋一
演 題	「皮膚バリア障害から考えるアトピー性疾患の病態と治療法」
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科 皮膚病態学分野 教授 秋山真志
	参加者 60名

【共通科】	
期 日	平成24年12月1日（土）
会 場	愛知県医師会館 9階 大講堂
テー マ	ワクチン接種をめぐる最新の話題
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員長 太田 宏
演 題	「水痘ワクチンとムンプスワクチンの必要性と課題」
講 師	江南厚生病院 副院長・こども医療センター長 尾崎隆男
演 題	「近年導入された予防接種について」
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科・小児科学・講師 伊藤嘉規
演 題	「子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）」
講 師	藤田保健衛生大学産婦人科 准教授 長谷川清志
参加者 27名	

【小児科】	
期 日	平成24年12月2日（日）
会 場	愛知県医師会館 9階 大講堂
共 催	愛知県小児科医会
司 会	愛知県小児科医会副会長 大西正純
座 長	愛知県小児科医会理事 渡辺 勇
演 題	「子どものアザに対するレーザー治療」
講 師	愛知医科大学形成外科 横尾和久
座 長	愛知県小児科医会副会長 大西正純
演 題	「地域で重症心身障害児（者）・超重症児（者）を支える医療」
講 師	名古屋大学医学部障害児（者）医療学寄附講座 三浦清邦
参加者 96名	

平成24年度 愛知県医師会健康教育講座

回数	開催日	テ　一　マ	講　師	参加者数
725	4月24日	中高齢者に多い 膝のいたみ	独立行政法人国立長寿医療研究センター 先端診療部関節科 医長 松井 康素	322
726	5月23日	「それは年のせいでは ありません！」 生活習慣病と泌尿器科の関係	ひこさか医院 院長 彦坂 敦也	298
727	6月27日	紫外線と皮膚	愛知医科大学皮膚科 教授 渡辺 大輔	226
728	7月5日	骨盤臓器脱と尿失禁	名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科 副部長 鈴木 省治	215
729	8月29日	なぜ病院を変わらなければならない？-リハビリテーション難民の理由-	愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科 教授 万歳登茂子	193
730	9月15日	腰痛のよもやま話	名城病院整形外科部長兼 脊椎脊髄センター センター長 川上 紀明	230
731	9月26日	災害とこころの健康	原クリニック 院長 原 敬造	105
732	10月24日	子どものアザをどう治す？	愛知医科大学形成外科 教授 横尾 和久	87
733	11月7日	こうすれば大丈夫！ がんの痛みをやわらげるには？	豊田厚生病院緩和ケア部 部長 柴原 弘明	146
734	12月13日	不老長寿か、不良長寿か	東邦ガス株式会社顧問 なごみクリニック 院長 林 博史	298

735	1月10日	新しい白内障手術	藤田保健衛生大学病院眼科 教授 堀口 正之	339
736	2月14日	現代日本人の食生活と 脂質異常症	平光ハートクリニック 院長 平光 伸也	287
737	3月7日	寝る子は育つ、 寝る大人は長生きする	名古屋市立大学 耳鼻咽喉科 准教授 中山 明峰	336

難病相談室取扱いケース内容

		神 経	耳 鼻	眼	膠原病	皮 膚	骨・関節	腎 臓	循環器	消化器
ケ ース 数	新規ケース	220	54	80	69	47	76	24	24	112
	継続ケース	274	38	79	79	47	62	15	22	157
	計	494	92	159	148	94	138	39	46	269
	呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合 計	
新規ケース	39	35	34	37	14	30	9	109	1,013	
継続ケース	39	22	40	58	11	45	10	54	1,052	
計	78	57	74	95	25	75	19	163	2,065	

取 扱 い 内 容	アセスメント（重複）	
	疾病の背景要因の発見	6
	治療や療養生活への適応	1,303
	家族との関係や家族の生活	160
	職業・住居などの社会生活	255
	医療・生活などの経済面	229
	社会復帰への受入れと適応	228
	医療機関利用	401
	その他	82
合 計		2,664
主なケースワーク措置		
応急的援助	5	
背景調査	3	
相談面接	925	
関係調整	906	
制度利用	87	
施設利用	38	
グループワーク	65	
その他の	36	
合 計	2,065	

新規 ケ ース 紹 介 者	医療機関	64
	保健所・保健センター	82
	福祉事務所	-
	その他公的機関	52
	本人又は家族	324
	広報・ポスター等	229
	新聞・ラジオ・テレビ	3
その他		259
合 計		1,013

特定健診・保健指導研修会

回	日時・場所	テ　一　マ	講師	参加 人数
1	平成24年8月29日（水） 午後2時～午後4時 栄ガスビルガスホール	生活習慣病対策 ～ライフスタイル改善の 継続から定着～～	名城大学大学院総合学術研究科 生命科学専攻教授 加藤 幸久	33
		一般健康診断と事後措置の実際	名城大学薬学部 教授 吉田 勉	
2	平成24年9月8日（土） 午後2時～午後5時20分 AP名古屋。名駅 8階B+C+Dルーム	健康診断と事後指導	医療法人順秀会 理事長 加藤 秀平	102
		たばこ・アルコールに関する 保健指導	大同特殊鋼（株） 統括産業医 齊藤 政彦	
		生活習慣病予防と 保健指導	中部ろうさい病院 勤労者予防医療センター所長 河村 孝彦	
3	平成24年10月26日（金） 午後2時～午後4時 栄ガスビルガスホール	保健指導のすすめ方（基礎編）	名古屋学芸大学管理栄養学部 管理栄養学科兼大学院 栄養科学研究科准教授 塚原 丘美	79
		保健指導のすすめ方（実践編）	総合上飯田第一病院 栄養科顧問 岡本 夏子	
4	平成24年11月30日（金） 午後2時～午後4時 栄ガスビルガスホール	行動変容に関する理論	名古屋大学大学院医学系研究科 地域総合ヘルスケアシステム開発 寄附講座講師 松葉 泰昌	43
5	平成24年12月14日（金） 午後2時～午後4時 中日パレスクラウンホール	保健指導対象者の選定： 階層化をめぐる諸問題	名古屋大学大学院医学系研究科 地域総合ヘルスケアシステム開発 寄附講座講師 松葉 泰昌	24
6	平成25年1月25日（金） 午後2時～午後4時 栄ガスビルガスホール	健康づくりにおける運動指導	東海学園大学 スポーツ健康科学部教授 島岡 清	45
7	平成25年2月22日（金） 午後2時～午後4時 栄ガスビルガスホール	ロールプレイを通して学ぶ、 相手の心に届く保健指導の すすめ方	三菱重工業（株） 保健師 市丸 麻衣子	37

平成24年度テレビ番組「健康ワンダフル」

放送テレビ：テレビ愛知（デジタル10ch）

放送日時：毎月最終土曜日午前7時00分～7時30分

放送日時	テ　ー　マ	出　演
4月28日	「飛蚊症」	眼科 吉田　統彦
5月26日	「頻尿と尿失禁」	泌尿器科 窪田　泰江
6月30日	「カテーテルで治す心房細動」	内　科 村上　善正
7月28日	「骨折は寿命を縮める？～骨粗鬆症～」	整形外科 原田　敦
8月25日	「超音波検査と胎児の成長」	産婦人科 関谷　隆夫
9月29日	「最近の腹腔鏡手術」	外　科 山本　英夫
10月27日	「体中に出来る発疹 ～乾癬と掌せき膿ほう症～」	皮膚科 森田　明理
11月24日	「生後2ヶ月からのワクチンプラン」	小児科 後藤　泰浩
12月22日	「愛知県の災害救急医療への取り組み」	病院協会 浦田　士郎
1月26日	「血便が出ました」	内科 大橋　暁
2月23日	「子どものかかりやすい耳の病気」	耳鼻咽喉科 植田　広海
3月30日	「てんかん患者の社会参加について」	精神科 福智　寿彦

ジェネラルマインド医師養成セミナー

回	日時・場所	テ　ー　マ	講師	参加 人数
7	平成24年 7月 7日 (土) 午後4時～午後7時 8階802～804会議室	慢性腎臓病治療のガイドラインと トピックについて	京都桂病院 腎臓内科 田川 美穂	37
8	平成24年 9月15日 (土) 午後4時～午後7時 8階802～804会議室	プライマリケアができる 関節痛のアプローチ	聖路加国際病院 アレルギー・膠原病科 (成人、小児) 岸本 暢将	32
9	平成24年10月27日 (土) 午後4時～午後7時 5階医師連盟会議室	generalistのための すぐに役立つ精神科	東京都立多摩総合医療センター 精神科 児玉 知之	26
10	平成24年12月 8日 (土) 午後4時～午後7時 5階医師連盟会議室	皮膚から考える全身疾患	一宮市立市民病院 皮膚科部長 満間 照之	26
11	平成25年 2月23日 (土) 午後4時～午後7時 5階医師連盟会議室	クリニックで泌尿器科医が行なう 治療の実際	かげやま医院 院長 影山 慎二	29

生命保険団体取扱状況調

(平25.3月末現在)

会 社 名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日本生命	285	425	32,924,717
マスミュー・チュアル生命	15	20	415,875
ジブラルタ生命	25	42	3,349,166
第一生命	113	182	9,669,771
朝日生命	53	79	3,817,217
明治安田生命	117	165	9,672,778
三井生命	175	280	13,927,923
住友生命	82	115	7,634,731
合 計	865	1,308	81,412,178

決議

未曾有の大災害となった東日本大震災、福島原発事故から一年余りが経過したが、復興は遅々として進んでいない。世界経済もまた混迷の度合いを深めており、このような時ほど安心・安全な社会保障体制の整備が望まれる。にも関わらず政府は環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への交渉参加を表明し、さらに社会保障制度への具体的展望のない「一体改革」の名の下で消費税増税のみを先行させている。

TPPについて政府は「医療制度は交渉のテーブルにのせない」としているが、米国議会や事前協議を行った官僚らは「TPPに例外はない」と表明しており、「混合診療の全面解禁」や「株式会社の医療への参入」等、これまでの米国政府の対日要求など歴史的経緯を踏まえれば、国民皆保険制度が危機に晒されることは明白である。

消費税増税について政府は「増税分を社会保障の財源とし国民に還元する」としているが、その視線は少子高齢化と医療の高度化による医療費の恒久的な財源不足を解消するため更なる増税に向けられている。医療機関は現在、社会保険診療報酬の非課税制度による控除対象外消費税問題、いわゆる「損税問題」を抱えているが、政府はこの点を認識しながら放置してきた。患者負担を増やす、この問題を解消するには社会保険診療報酬へのゼロ税率課税しかない。このまま消費税増税がなされれば、医療機関の経営は破綻し、地域医療に重大な影響を及ぼすであろう。

世界に誇る国民皆保険制度を守るために、我々は下記のごとく決議する。

記

- 一、安心・安全な社会保障体制を構築せよ。
- 一、TPP交渉参加を即刻撤回せよ。
- 一、社会保険診療報酬をゼロ税率課税とせよ。

平成24年6月23日

愛知県医師会 第166回（定例）代議員会

決議

衆参でのねじれ国会を巡る与野党の攻防を経て、8月10日 消費税増税を柱とする社会保障と税の一体改革関連法案が成立した。

日本医師会は国民負担を増やすさず、「医療費非課税」に伴う医療機関の損税を解消する方策として社会保険診療報酬に対するゼロ税率課税を主張・要求してきた。しかし、国は税率10%までは、これまで同様診療報酬での補填により対応するとしている。さらに財務相が「医療機関に適切なある程度の負担を求める」と発言するなど、国は損税の解消を放棄する姿勢さえ示している。この発言は消費税制度の根幹を無視した暴言と言わざるを得ない。

また、「医療は非課税」と国は謳っているが、これは事実に反する。医療機関窓口での消費税徴収がない一方で、医療機関が購入する薬剤や設備にかかる消費税分を保険料や窓口負担として国民が支払い、さらに医療機関が損税として負担しているのである。国の思惑通りに消費税増税が為されれば、国民負担の増加は受診抑制を引き起こすとともに医療機関の損税負担は限界を超え、安心・安全な医療環境が破壊されることは必至である。

さらに社会保障制度改革推進法案には、国民皆保険制度の堅持を放棄するとも取れる表現や、保険給付範囲の縮小を示唆する記述がある。これはわが国がTPPへの交渉参加を表明している中で、医療界が強く反対する「混合診療の全面解禁」「株式会社の医療参入」などが、将来米国の要求のもとに実現する可能性を見据えた布石ではないかと懸念される。これら国民の健康保持をないがしろにする国の姿勢は、医療者として容認できるものではない。

我々は、国民の健康を守り、医療機関の健全な経営を維持するため、下記のごとく決議する。

記

- 一、医療費に対する消費税非課税を課税へ改め、その税率を0%とせよ。
- 一、医療格差を拡大する、混合診療の全面的な解禁は認めない。
- 一、国民医療のさらなる充実・強化を図り、国民皆保険制度を堅持せよ。

平成24年10月6日

愛知県医師会 第167回（臨時）代議員会

決議

歴史的な政権交代によって誕生した民主党政権は、国民の期待に十分に応えられず、先の衆議院選挙では厳しい審判を受けることとなった。しかし、社会保障制度改革をはじめとして、我が国には喫緊の問題が山積している。今回再び政権の座についた自民・公明両党には、民主党への政権交代となった理由の真摯なる反省と、その轍を踏まぬよう解決に向けての政治的手腕が期待される。

民主党政権下で決まった消費税増税は自民党政権でも継承されるが、8%増税時での軽減税率は導入されないこととなった。しかも我々医療関係団体が繰り返し要望してきた、社会保険診療報酬に対する非課税を課税へ改め、その税率をゼロ%とすることに対しては、何ら根本的な議論さえされていない。消費税増税によるこれ以上の損税負担はすべての医療機関の経営をさらに圧迫し、小泉政権下で断行された医療費抑制政策によって弱体化した地域医療に壊滅的な打撃を与えることになるであろう。

TPPを巡る問題では、その参加により、医療格差を拡大する『混合診療全面解禁』や医療の営利化を目論む『株式会社の医療参入』が導入される懸念がある。このような状況下でTPPに参加を表明することは、国民にとって何ら利するものではない。誰もが安心して医療を受けられる現行の国民皆保険制度を堅持すべきである。

東日本大震災から2年となるが、いまだ被災地の復興は不十分で、32万人が故郷に戻れず、地域医療体制も回復していない。また自治体により復興予算における執行率のばらつきや、使途の不明確なものがある。新政権には避難者の早期帰還、生活再建、医療体制の再生、そして復興予算の速やか且つ的確な執行が強く望まれる。

我々は国民の健康と国民のための医療制度を守るために、下記のごとく決議する。

記

- 一、医療費に対する消費税非課税を課税へ改め、その税率をゼロ%とせよ。
- 一、国民が安心して医療が受けられる国民皆保険制度を堅持せよ。
- 一、東日本大震災からの復興と医療体制の構築を速やかに達成せよ。

平成25年3月2日

愛知県医師会 第168回（臨時）代議員会